

響け念仏 北の大地に

2024
(令和6)年

6月号

本願寺帯広別院だより

〒080-0803 帯広市東3条南5丁目3 TEL:0155(23)3720
FAX:0155(21)4989 発行人:輪番・石川勝紀

別院ホームページ
<http://www.betsuin.jp/> →



北海道教区本願寺帯広別院 親鸞聖人御誕生八百五十年 立教開宗八百年 慶讃法要が勤まる

京都・本願寺において昨年5期30日間にわたりお迎えされた「親鸞聖人御誕生八百五十年・立教開宗八百年慶讃法要」を、帯広別院にて修行しました。5月18日(土)に公開講座19日(日)に帰敬式、法要、記念布教などを行いました。

法要は「はなれていても、こころはひとつ」をテーマにかかげ、北海道教区内の札幌別院、小樽別院、函館別院、帯広別院の4別院をオンラインでつなぎました。各別院の僧侶・門信徒は互いにつながっている一体感のなか、ご縁を慶び、お念仏とともに過ごしました。

6月のご案内

月例布教 1日~3日13時30分〈講堂〉
宗祖月忌法要 15日・16日13時〈本堂〉
常例布教 13日~16日13時〈本堂〉 布教使 佐賀県 正木弘真 師

7月のご案内

月例布教 1日~3日13時30分〈講堂〉
宗祖月忌法要 15日・16日13時〈本堂〉
常例布教 13日~16日13時〈本堂〉 布教使 広島県 小林邦頭 師
暁天講座 10日~15日6時30分 布教使 広島県 小林邦頭 師

暁天講座の詳細については4頁をご覧ください



オンラインによる北島師のご法話が、本堂の大型スクリーンに映し出された



帰敬式



満堂となった本堂

親鸞聖人御誕生八百五十年 立教開宗八百年 慶讃法要

5/18
14時

公開講座特別講演 旭山動物園

統括園長の坂東元さんに「伝えるのは命・つなぐのは命」を



ることはないのか、また動物から学ぶ育児、オンラインウータンのペアリングなど、長年動物園で活動されている坂東さんならではのお話でした。近年問題になっているヒグマも、コロナで人間の外出が減ったことがヒグマの行動範囲を上げたなど、考えさせられる内容でした。

型コロナで延期となり、4年越しに実現しました。人間だけが自然界の食物連鎖から離れ一方的に得ているなか、私たちが自然に対して恩返しでき

も伝えることによって、命を大切にすることにつながると力強く話されました。そして、動物の誕生を伝えるだけでなく、死

公開講座の様子

5/19
11時

帰敬式 118名が阿弥陀如来・

親鸞聖人の御前で浄土真宗の門徒としての自覚をあらたにし、法名を授

与されました。誠に改めてありがとうございます。

別院では昨年来、記念整備事業とし

13時

て本堂屋根外壁塗装・屋根裏補強工事、境内アスファルト補修、会館・浄華堂屋上の防水工事を行いました。ご尽力いただいた業者に

感謝状を渡しました。

14時

慶讃法要 ご本山であらたに

制定された「新制 御本典作法」を

お勤めしました。参拝者から「雅楽の音色やお勤

めが素晴らしかった」などの感想が聞かれました。

記念布教 北島清秀師(山陰教区神門組乗光

寺住職)にオンライン中継によるご法話「名号の

お心について」をお話いただきました。道内の

別院に集う皆さんとともにお聴聞しました。



感性・能力を目覚めさせる

ご法話



ご法名からいただく仏さまの心 文：池上宗恵

別院で5月にご修行された慶讃法要では、あわせて帰敬式が執り行われ、100名を越す多くの方が受式されました。帰敬式は一生に一度の大切な式です。単にご法名をいただく式ではありません。

仏さま、親鸞聖人の前で心を新たに、仏法を依りどころとし、念仏者として生きることを約束したうえで授かる名がご法名です。私たちには両親の思いがたくさん込められた名前があります。阿弥陀さまにも阿弥陀という名前があります。この阿弥陀とは、「いつでもどこでもあなたのことを思い寄り添いつづけていますよ」という思いが込められている名です。

「重誓偈」のなかに、

「我至成仏道 名声超十方 究竟靡所聞 誓不成正覚」
がしじょうぶつどう みょうしやうちやうじつぽう くきやうみしよん せいふじやうしやうかく

(私の名号「南無阿弥陀仏」は広く世界に響くでしょう。もし聞こえないところがあるならば、誓って私には仏には成りません)

とあります。「南無阿弥陀の声の仏さま」となって私たちに至り届いてくださっているのがお念仏であり、阿弥陀さまから願われているからこそ、私の口からお念仏が出るのです。

ご法名は、けっして死を迎えるときのための名ではありません。

「なもあみだぶつ」とお念仏申させていただき、阿弥陀さまの願いのなかに安心をいただき、この人生を心豊かに歩ませていただきますでしょう。

6月 オススメの一冊



『母を尋ねて三千里』

アミーチス著／日本童話研究会訳／青空文庫 (インターネットの電子図書館)
<https://www.aozora.gr.jp/cards/001048/card45381.html>

先日、妻に「母をたずねて三千里というアニメがあったよね。結末はどうなったの？」と聞かれ、原作を読んでみようと思っていたら、娘からインターネットで読めるよと紹介されました。原作はデ・アミーチスの『クオーレ』という小説のなかの1話でした。少年マルコの母に対するひたむきな想いと、幾多の試練を乗り越えてゆく姿に胸が熱くなりました。無謀とも思える旅の最後にマルコは母と再会し、大きな意味があったとして感動的に終わります。小説で心温まるものよいのではないのでしょうか。(津村)

永代経懇志ご進納

(ご進納日 4月15日～5月14日)

ののさまの絵、本堂に掲示

別院の親鸞聖人御誕生八百五十年・立教開宗八百年慶讃法要に合わせて、数多くの「ののさまの絵」が本堂に彩りを添えました。絵を描いたのは、帯広幼稚園・鉄南保育園・藤化保育園・さくら保育園の年長児と、市内4か所の児童保育センターの一年生の皆さんです。参拝の方々は個性豊かな絵をじっくり見ておられました。



募金についてのご報告

別院の慶讃法要にて、能登半島地震災害義援金74,797円、子どもたちの笑顔のために募金65,956円が集まり、宗派に送りました。皆さまの温かいご支援に感謝申し上げます。



暁天講座

東別院・西別院を会場に7月10日(水)～15日(月)朝6時30分から暁天講座を開催します。

- 東別院にて
- 10日 講師 前田瑞人師(幕別町)
- 11日 講師 太田融哉師(章吏町)
- 12日 講師 亀渕 卓師(石川県)
- 西別院にて
- 13日～15日

講師 小林邦顕師(広島県)
(期間中のお昼朝は6時からです)
初夏の朝。早起きをして、ほとけさまのお話を聞きに来ませんか。



昨年、西別院での暁天講座の様子

自他ともにたいせつな言葉紹介 **人我兼利**じんがけんり

一心不乱 いっしんふらん

この言葉は『仏説阿弥陀経』にある、「雑念を捨てて心を一つにして念仏する」というお示しです。しかしながら、私たちは到底「雑念」を捨てることのできる身ではありません。◆親鸞聖人は「この世は五濁悪世といわれる苦しみの世界で、私たち自身も迷い・悩みの身であり、自ら悟りを得ることができない」とされたうえで、「この有様の私だからこそ、阿弥陀さまは、私たちを救いの目当てとしている」と阿弥陀さまのお慈悲をご教示くださいました。◆「凡夫の身である私が、仏の悟りをいただく身となる」との聖人のお意をいただくこと、「濁悪」の世界での私たちの生き方が変わり、報恩感謝のお念仏申される日暮らしになることかと思えます。(石川)